

令和元年度 木更津市図書館協議会委員委嘱状交付式並びに第1回図書館協議会 会議録

日時 令和元年7月6日(土)午後1時～午後2時40分
会場 木更津市立図書館 小会議室
出席者 鉢村美幸委員 村上淑子委員 荻野敬次委員 手塚英美委員 須磨谷幸子委員
實劔純一郎委員 桂啓之委員
事務局 高澤茂夫教育長 渡邊雅夫館長 大宮安雄副館長 石渡 恵主査

概要

1. 令和元年度木更津市図書館協議会委員委嘱状交付式

- (1) 委嘱状の交付 授与 高澤教育長
介添え 渡邊館長

2. 令和元年度第1回木更津市図書館協議会

- (1) 高澤教育長挨拶
(2) 委員自己紹介
(3) 職員紹介
(4) 議題

ア 正副議長の選出について

木更津市図書館協議会運営規則第2条第2項に則り議長、副議長の互選については、桂委員を仮議長として進行、議長に桂啓之委員、副議長に荻野敬次委員が選出された。

イ 生涯学習フェスティバル実行委員の選出について

令和元年度生涯フェスティバル実行委員に高岡礼乃委員が選出された。

ウ 平成30年度事業報告について

事務局から説明

エ 令和元年度事業計画について

事務局から説明

オ その他

事務局から説明

- ・第2期木更津市教育振興基本計画
- ・第4次木更津市子どもの読書活動推進計画(木更津読書プラン)
- ・平成30年度教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行状況の点検評価
- ・新しく買った本2019.7
- ・夏休みにおすすめの本(1・2年生、3・4年生、5・6年生、中学生)

○令和元年度第1回木更津市図書館協議会

(事務局)

それでは、ただ今から令和元年度第1回図書館協議会を開催いたします。

開催にあたり、ご報告させていただきます。

本日の会議は、委員10名中、7名が出席で、欠席は、3名でございます。従いまして、図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上、ご報告いたします。

それでは、はじめに高澤教育長よりご挨拶をお願いいたします。

(高澤教育長挨拶)

(事務局)

本日は、初めての定例会となりますので、議事に入る前に委員の皆様、それぞれ自己紹介をお願いいたします。それでは、鉢村委員からお願いいたします。

(鉢村委員)

初めまして木更津総合高校の教員をしております鉢村と申します。よろしくお願いいたします。私は社会教育委員を仰せつかっております、その代表ということで、今年からこちらに参加させていただくことになりました。

自分自身は木更津第一小学校の卒業生でございますので、木更津第一小学校の向かい側にありました古い図書館のイメージがすごくあります。それから木更津高校に通っていた時は、この新しい図書館になった頃でしたので、登下校の際にちょっと寄らせていただいたりとかっていうことがありました。

しばらく木更津を離れていたのですが、こういう形で思い出深い木更津、それから木更津の図書館等に関わることができるようになってすごくうれしく思っております。

多分、私が何かできるということよりも私が学ぶ機会、図書館協議会を通して得ることの方が多いかと思いますので、自分自身の勉強をしながら、そしてそれを学校の方、それから、社会教育委員会の方に持ち帰って、少しでも、何かの役に立てていけたらいいなというふうに思っております。

よろしくお願いいたします。

(村上委員)

村上淑子と申します。よろしくお願いいたします。今期、公民館の運営審議会から出させていただきます。図書館の利用は私も長くなりますけれども「音訳の会」の方でこちらに昨日も活動があったんですけども、利用を始めてから、私も学生の頃から、木更津図書館に出入りしていましたが、今に至ってもいろいろ勉強することの多い日々です。どうぞよろしくお願いいたします。

(荻野委員)

こんにちは。

荻野敬次と申します。私の勤務先会社は真向いで自動車修理工場をやっています。

こちらで何かイベントがあってですね、車が止められないとき、仕事をやってないときは、駐車場を開放したりしておりますけれども、そういった縁で図書館協議会委員を承っています。

私はどっちかっていうと、普段はスポーツの方の関係をやっていまして、全く畑違いですが、皆さんと一緒に図書館を盛り上げていけたらいいなというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

(手塚委員)

木更津市立請西保育園で園長をしております手塚英美と申します。

私はですね、木更津市保育協議会の方から、代表として、今期のこちらの委員の方を仰せつかりました。子供たちと一緒に過ごし接する機会が多いものとして、そういう立場でこの会議に参加させていただいていると思いますが、私自身もまだ子供が小さくて、上は10歳、下は1歳ともうすぐ2歳になる娘がおりますが、こちらの図書館も子供たちともよく使わせていただいております。

私自身ほんとにまだまだ未熟ものですので、皆さんのお話、お知恵をお聞きしながら、少しでも力になればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(須磨谷委員)

須磨谷幸子と申します。

「木更津点訳の会」の今年代表をやらせていただいております関係で、こちらもやらさせていただくことになりました。初めてでわからないことばかりですけど。どうぞよろしくお願いいたします。

(實剣委員)

こんにちは實剣と言います。

私は清和大学の方で今、図書館長をやっておりまして、図書館に関わる仕事をしているということで、ちょうど木更津市と大学は、包括連携協定というのを結んでおりまして、いろいろ私たちがどのぐらいお手伝いできているかわからないですけども図書館の方も連携させていただいて、こういうお仕事をお手伝いすることと、やはり、大学の図書館も実はさっき教育長がおっしゃいましたけれども、やっぱり、学生の本離れが結構激しいですね、そういう悩みもあるのでこういう場で皆さんとお話できると思います。

よろしくお願いいたします。

(桂委員)

桂啓之と言います。

今は、63歳になりましたが、新日本製鉄から社名変更変わりました日本製鉄に勤めさせていただいております。

先ほど教育長からご紹介いただいたのは、27年間、中央の検定委員ということで技能検定に関わったのが長かったというのと、県でも「整備の匠」というのをいただいて、そういったのも全部含めていただいたのかと、長年地道に努力したことでいただけたのだと自分では思っていますし、周りの人たちに協力をいただいた賜物だと感じております。特に会社の上司、そういった方にもかなり感謝しております。

一生に一度あるかないかの経験をさせていただいて。今後も図書館協議会委員としてできる限りのことをやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

次に、事務局職員が自己紹介をいたします。

(館長)

図書館長の渡邊雅夫と申します。今年4年目になりました。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

(副館長)

副館長の大宮と申します。4月に中央公民館から参りました。協議会の庶務を担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(石渡主査)

この4月から2階の郷土資料の担当になりました石渡と申します。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ここで高澤教育長につきましては、この後、清和大学で開催されます「生涯学習市民公開講座開会式」に出席いたしますので、退席させていただきます。

(高澤教育長退席)

(事務局)

それでは会議に入ります。

今後の進行につきましては、図書館協議会運営規則第2条第3項の規定により、議長にお願いするところでございますが、議長が決まるまでの間、6月30日まで議長を務めていただきました、桂委員に仮議長をお願いしたいと思います。また、本日の議事録署名人は、桂委員と荻野議員にお願いいたします。

よろしいでしょうか。

(各委員)

はい。

(事務局)

それでは、桂委員仮議長席へお願いいたします。

(桂仮議長)

皆さん、仮議長ですから、私が議長やりたいという人は、手を挙げていただければ議長にいたしますが、仮議長ということで、とりあえず。それでは、議事に入りたいと思います。

初めに議題1の正副議長の選出について、事務局から説明願います。

(事務局)

図書館協議会の正副議長の選出につきましては、図書館協議会運営規則第2条第1項で「協議会に議長及び副議長を置く」と規定され、また、第2項に「選出については、図書館協議会委員の互選によってこれを定める」とされていることから、今回議題として提案するものであります。以上です。

(桂仮議長)

事務局の説明がありました。議長は選出につきまして、いかがいたしましょうか。

まず立候補、私がやりたいという方がいたら手を挙げて名乗り出てください。 宝剣委員いかがですか。事前に事務局とお話しておりまして、事務局に一任ということでよろしいですか。

(各委員)

はい。

(桂仮議長)

それでは事務局の方をお願いして提案していただきたいと思います。

(事務局)

事務局といたしましては、議長は、前年度議長の桂委員に、副議長につきましても、前年度副議長の荻野委員に引き続きお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。以上です。

(桂仮議長)

はい。荻野委員よろしいですか。

(荻野委員)

はい。

(桂仮議長)

よろしく申し上げます。

(事務局)

荻野委員、副議長席に移動願います。

(事務局)

それでは早速でございますが、お二人よりごあいさつをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(桂議長)

ありがとうございます。立って一応、礼だけして座らせていただきます。

先ほど自己紹介もやりました。名簿見ていただいてわかると思いますが、私が一番古いようです。

図書館協議会は、皆さんの意見がかなり図書館に対して影響があるというそれだけの権力を持っている協議会ですので、どしどし図書館のためにですね、なるような意見も活発に出していただければと思います。昨今、今年の2月ですが、このインターネットでホームページをリニューアルされたということで、図書館の運営はかなり進歩してきているんですね。

これからも図書館を盛り上げていくために、協議会委員の皆さんには積極的にどンドン、どしどし意見を出していただければというふうに思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(荻野副議長)

副議長ということで、桂議長より私が遥かに年上です。にもかかわらずですね、そういったことができるかどうかわかりませんが、キャリアが非常にこの図書館については、ほとんどゼロに近い状況なんですけども、違った観点からですね。側面から見ることができるんじゃないかなというふうに考えております。

そういったことで、見当違いな発想をするかもしれませんが、よろしくをお願いしたいと思います。

(事務局)

はい。ありがとうございました。よろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、進行につきましては、桂議長をお願いいたします。

(桂議長)

それでは、議題の2ですね、生涯学習フェスティバル実行委員の選出について。

これも事務局の方をお願いしていますので、事務局の方から、お願いいたします。

(事務局)

まず提案理由ですが、毎年開催されております「木更津市生涯学習フェスティバル」ですが、本年は11月17日日曜日に予定されております。例年この協議会から実行委員として1名を推薦していることから、今年度も1名推薦するため、議題として提案するものであります。任期は、実行委員会発足から事業の終

了までの間となります。

なお、昨年は高岡委員を実行委員として選出しております。以上です。

(桂議長)

はい。事務局より説明がありましたが、生涯学習フェスティバル、皆さん行ったことあると思うんですけども、多くの市民が参加して、盛り上がるんですね。そんな中で、昨年度高岡委員が準備から当日まで、一生懸命やっていただきました。

高岡さんは「市子連」からの選出で、子供たちのためにいろんなことをやられている方なので、こういったフェスティバルの委員にはものすごく向いているということで、私はもう1年続けて高岡さんをお願いしたいと思います。

(事務局)

議長よろしいですか。念のために事務局から高岡委員にあらかじめ再任のお願いのお話しをさせていただきます。

(桂議長)

はい。それでは皆さん、高岡委員ということで、いかがでしょうか。よろしければ、拍手をお願いします。

(各委員)

(拍手)

(桂議長)

ありがとうございます。高岡委員には今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

(荻野副議長)

フェスティバル実行委員長は、榛沢さんがまだやっていますか。

(桂議長)

委員長は榛沢さんですね。ベテランですから知らない人はいませんね。よろしいですか。議題の2の方は、決まりましたので続きまして議題の3平成30年度の事業報告について、事務局の方から説明いただきたいと思います。

(事務局)

(平成30年度の事業報告について、資料により説明)

(桂議長)

はい。ただいま、事務局から説明がありました。

30年度の事業報告ですけども、質疑応答に入りたいと思います。何でも結構です。

今回新たに委員になった方もいると思うんでわからないこととか、質問も含めて、いただければと思います。いかがでしょうか。

(實剣委員)

2ページで予約リクエストが今年度増えた。件数がですからこれは何か市民からこういうものを入れてくださいとか、というたぐいですよね。そのところ、どうして増えたのかっていうことと、あとこういうリクエストが出てきた後、図書館としてはどんな対応したのかっていうのをちょっと教えていただければと思うんですけども。

(事務局)

予約リクエストについては、最近のホームページのリニューアル等いろいろな形で拡充している面もありますので、予約やリクエストができるということが、一般に広く周知が図られてきた結果っていうふうに考えます。

それと、端末システムのも一台増設し2階にい検索システムを入れるような取り組みをしたことによって、従来1階だけで、検索していたのが2階でもできるようになりました。

予約リクエスト数が増加しているのはそういった形の結果だと考えています。

図書館では、予約リクエストいただいたものに対して、図書館の中にあるものについてはそのまま予約を

入れてお待ちいただくような形になります。

また、図書館にないものについては、近隣の図書館、千葉県内での相互貸借業務で、手配するような形を行っています。

また購入によって対応するものもございますので三種類の対応で実施させていただいております。

(桂議長)

はい。よろしいですか。その他質問意見等ありましたら。

(村上委員)

はい。ただいま、お聞きしていて大変な行事的なものもそうですし、数字的な報告もそうなんですけれども、今日会議で初めて今見せていただいて、質問意見も含めてですけれども、資料に目を通すというか、もう精一杯で、今説明聞いていてもページ追いきれなかったんですけれども、この資料を事前にやっぱり私たちに送付していただいて、意見質問がないにしても、でも私たちが目を通す時間を取っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

前回こちらの資料全体については、送付することができなかったので、今後そのような方向で考えていくような形にしたいと思います。

図書館だよりですとか、各事業の一部については、今回、事前に送付させていただきましたが、それとあわせて事業報告系についても会議開催前に皆様のお手元に届くように、できるだけ進めていきたいと思っております。

(桂議長)

はい。事前送付はしていただけるということです。次回の会議が来年の3月ですね。その間にいろんな資料も送っていただけるので、その都度、来年の3月まで忘れてしまうので、貴重な意見であれば、その都度館長に電話してでもいいんで、木更津図書館に電話でもネット上のいずれにしても構わないんで。そういったこと、していただければなと思います。

(村上委員)

この件もちろんそうですけど、やっぱりこの委員同士で共有することも大事だと思って気づかないことを他の方に言われてああそうだなっていうようなこともたくさんあると思うので。それと、この資料についてはちょっとまた別の問題ですけれども。

(桂議長)

とりあえず今回この資料お持ち帰りいただいて他の資料もありますので、そういった物にも目を通していただいて、気になっているようなことがあれば、来年の3月と言わず、早めに確認していただければいいかなと思います。私の意見ですが、館長が受けてくれるかどうかは別として。

(事務局)

最近事前送付する団体が多くなっておりますので、図書館の方もそちらの方向で考えていきたいというふうに思いますよろしく申し上げます。

(桂議長)

生涯学習推進委員会は事前配付されています。社会教育委員もそうです。

そうですね。ということで、館長が快く事前配付していただけるということで決まりましたので、よろしく願いいたします。他に。

(鉢村委員)

すみません。新規の者ですから、もう、他の委員の方たちはわかってらっしゃるのかもしれないんですけれどもすみません質問させてください。2点あります。

まず第1点は読書手帳のことで。こちらの方の読書プランの方の2ページのところに実物の写真があって、すごくかわいくていいのだなと思うんですね。

自分が読んだことが記録になって残っていくのっていうのは、すごく子供たちの読書意欲を喚起すること

になると思うのですが、これはどういう形でお子さんたちの手に渡っているのかなってということがちょっと知りたいです。

それともう1点は、こちらの事業計画の方の3ページで館長さんからもお話がありましたけれども、寄付をいただいているようなんですよね。お金の方ではなくって蔵書としての寄付ということで、私が以前、東京に住んでおりました、もう、購入した本だったのですが、もうさっと読んでとっても綺麗な状態のまま残ったので、これ自分の手元にあつたらもったいないなと思って近くの図書館に持って行って寄付したいんですけど言っただけです。そしたら申し訳ないけれどもそういう寄付を受け入れられないと。

ただ、そのリサイクルフェアの中に入れて、一般の方々へお好きな方がリサイクルへ出席ということで持って帰るっていうそういうものには含めることができるって言われたので、そうさせてもらったんですけども、この木更津市のこの蔵書の寄贈っていうものが、どういうもので、どういう扱いをされているのかなってということが知りたいと思いました。よろしくお願いします。

(事務局)

それでは2点の質問のうちの寄付の関係を私の方から、最初にお話をしていきたいと思います。

寄付については木更津市図書館が基本的に受け入れています。

木更津市立図書館の蔵書を収集するにあたって資料の収集要綱を作成していますが、その要綱に合致する形での受け入れをしているという形になります。また、人気のある図書でなかなか図書館で複数買えないものについては、寄付の受け入れを募って、必要な本をホームページ上で募集したりしていますので、そういう取り組みも進めていますよ。

読書手帳については石渡の方が作成いたしましたので、石渡より説明いたします。

(事務局)

では、昨年まで児童書を担当していましたので、その関係で読書手帳を作っていましたのでちょっとご説明いたします。読書手帳はまず夏休みの前に500部印刷をしまして、館内で配布を昨年いたしました。2週間程度で500部が出払ってしまったんですが、いろいろ印刷費の関係等もありましたので、その後は図書館のホームページの中で、イラストを公開しまして、ご自宅でプリントアウトして冊子に作ってもらうような形で公開をしています。

また今年度も早いところは来週から夏休みに入りますけど、そこに合わせて館内の窓口等で同じように500部印刷をして配布する予定ではあります。

(桂議長)

皆さんよろしいでしょうか。金銭的な寄付も受け付けておりますか。

(事務局)

金銭的な寄付については、昨年度は3万円でしたけれども、一般の方から寄付がございました。3万円受入れて3万円分の書籍を購入いたしました。

それと他に書籍として木更津東ロータリークラブから毎年ご寄付いただいています。以上です。

(桂議長)

はい。ありがとうございます。他にご質問、ご意見ございませんか。

(村上委員)

蔵書について、寄贈についての質問等がありましたけれども、私も前に木更津ではなくて、ちょっと質問の形で聞いたことがあったんですけども、数冊ではなくて、全集のような、ある程度の冊数の場合、なんか置く場所というか、そういうことについての図書館側の苦勞とといいますか、そういうのがあって、それと奥の方の蔵書をなんていうんですか、書庫の問題等もあって、今木更津図書館って書庫の方見ても大変限られた場所で、蔵書をリサイクルの時に出したりしていることもあると思うんですけども、蔵書冊数と実際にみんなが自由に手にとって借りられるような、あそこの場所も限られていますよね、狭くて書棚もない状態で、書庫の方も何か大変だになっていようなことが、かいま見ているんですけども、寄贈も含めて、蔵書の可能性とといいますか。そういう実態は今、どうなんでしょうか。

(桂議長)

館長お願いします。

(事務局)

はい。

いま、図書館の蔵書は、公民館の図書を含めて 36 万冊ちょっとあります。

ただ場所的にはかなり厳しいような状況になっているので、先ほどの廃棄資料の分も見てくださいとわかりますが、受け入れたものと同じぐらいの冊数を廃棄しているような状況がございます。

これは、過去においてあまり廃棄が進んでなかった部分もあり、ここ数年で資料の適正化を図っていくのも含めて、廃棄処分を多くしていることがございます。

ですからその分受け入れが可能になっている冊数もありますが、木更津市立図書館の蔵書規模としては、おそらく 37 万冊ぐらいでいっぱいになってくるように思われます。

全集等の受け入れについても、内容を確認させていただいて図書館で受け入れられるかどうか、収集要綱に照らし合わせて慎重に判断していくことを逐一、やっている次第です。お答えになっているかどうかわかりませんが、以上でございます。

(桂議長)

やりくりは一生懸命やられているっていうのは毎回の会議でも館長が額に汗をかいて、皆さんに報告してしますので、図書館としても大変らしいんですけども、そこを何とかやりくりしているというのが、現状ですね。

はい。よろしいでしょうか。活発な意見いただいてありがとうございます。

どんどんもっと意見を聞きたいんですけども、まだ議題が残っておりますので、次の方に進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

また、最後の方に前の方の内容の質問でも結構です最後にまとめて質問を受けますので。

続きまして議題の 4、令和元年度の事業計画について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局)

(令和元年の事業計画について、資料により説明)

(桂議長)

はい。ありがとうございます。ただいまの令和元年事業計画について質疑応答を行いたいと思います。

いかがでしょうか。

(桂議長)

私からちょっと 1 件。

ブックスタートを 4 月から始めている。ということなんですけども、今、ここまでの状況としては順調に進んでいるのでしょうか。

データ等含めてある程度、担当の方からお話をさせていただいてよろしいでしょうか。

後で、はい。

内容を細かく説明するのであれば今の質問は答えなくて結構です。

(事務局)

それでは概略ですけれども、ブックスタートは、年間 1,000 名程度の子供たちが木更津市の方に出生いたしますので、4 ヶ月健診におきましては月 3 回ほど、年間で 36 回実施されるような形になります。

それらに、すべて職員が出席するような形で、読み聞かせをした後に、いわゆるブックスタートパックを渡す形をとっておりますけれども、今まですべて出席させていただき多くの書籍を子供たちの手元に届けることができっております。

非常に順調なスタート、滑り出したと考えております。後程、担当の石渡の方から詳しい説明をさせていただきたいと思っておりますよろしく申し上げます。

(桂議長)

最初、始めた時にうまくいくかなとかいう話もありましたので。順調に進んで、そのお母さんたちとかの反響みたいなのは、なんか聞いていますか。

(事務局)

議長。

その場合、4ヶ月児を対象にした乳児健康診査の会場で本を読んで、その辺をお願い申しあげているんですが、やはり4ヶ月ですとまだ本を読んだことがないという親子が多い中で実際読むとお子さんがニコニコ反応してくれるのを見て、やはりここにいらっしゃる保護者の方なんかは、この小さくても、本をちゃんと見るんですねという反応があったり、図書館行ってみますっていう声があったりで実際に図書館で行っているその乳幼児と保護者向けのおはなし会「わらべ歌」をやったりっていうのをやってるんですが、そこに「この前ブックサービスで案内聞いたのできました。」というような方は大分この4月から増えた印象を受けています。

(桂議長)

はい。効果が出ているってことですね。

(事務局)

そうですね。なんかとても嬉しいですね。

(桂議長)

ありがとうございます。他に何かご質問。ご意見ありましたら、まだお言葉いただいてない方。須磨谷さん。印象でも何でも結構です。私が議長やるからには1回も喋らないで帰ることがありえませんが、よろしくお願ひしたいと思います。印象でも結構です。

(須磨谷委員)

こういう仕組みになっているんだ。ただこう驚いているというか、わからないことだらけでしっかり一生懸命についていきます。

(桂議長)

はい。図書館事業っていうのが、こういった色々なことをやっているっていうこと。大変だなっていうことだと思うんですけども。ありがとうございます。

(鉢村委員)

すみません。須磨谷さんに質問なんですけれど、「点訳の会」があるっていうことは知っていて、それで木更津市の市報とかにも、結構出ていますよね。本当になんか頭が下がる思いなんです。どれぐらいの方が点訳ボランティアに参加されていて、どれぐらいの書籍を点訳して図書館等に設置をしていらっしゃるのかそういうことを勉強させていただきたいんですが。

(須磨谷委員)

今17名でやっております。その蔵書の数としてはちょっと今資料が手元にないんです。取ってくればあるんですけど。今日、隣りで作業しています。

(桂議長)

結構、活発に活動していると聞いているんですけど。

(須磨谷委員)

もうすぐ「点字教室」がありますので。

(鉢村委員)

やっぱり利用状況もかなり好評なんですか。

(須磨谷委員)

はい。点訳などしたものに関してですとか。あと、リクエストとかもあまして。こういうのをやってくださいって。

(事務局)

点訳の資料ですけれども、資料3ページの中段に見ていただくとわかるりますが、3月31日現在で1231タイトル4129冊が点訳資料として木更津市立図書館に収蔵されています。

点訳・音訳資料が非常に県下の図書館の中でも多い部類に属しています。

また、木更津市立図書館は、は郷土参考図書についても、非常に多くの資料を所有している状況になっております。また、点訳につきましては、今年度、点訳の会の方々に講師を務めていただき、今年度の事業計画として、ボランティア講座を実施していただくようになってございます。

(桂議長)

これ対象者っていうのは。

(村上委員)

今の資料3ページです。点訳図書の下に音訳図書というのもあって、私はこの視覚障害者の同じ視覚障害者の方に声で何かサービスできればということで、やっぱり長い年数を続けているんですけども、私たちはもう、市の木更津市の毎月の広報と市議会だよりと、福祉木更津って福祉協議会からそれはもう発行のたびに必ずCDに録音したものを視覚障害者の希望者の方に発送していて、そのほかに、毎月新聞や雑誌の中から何か楽しいためになる記事を大体1時間ぐらいのCDの長さに作ったものをやっぱり四、五十名の方に、これは木更津市内の方だけじゃなくて、市原とか千葉の方の方にも会員がいらっしゃるのその方たちに、送っています。

視覚障害者の方への郵送料は無料ということになっているので、もう郵送用の袋ができていますので、それを送ってまた送り返してもらうという形で、今リクエストっていうのがありましたけどそれ以外に、今なんか、こんな本がやはりベストセラーになっているとか何か。

こういう本が出たとか、例えば芥川賞とかなんかそういうところで、本をぜひ自分も聞きたいっていう方とか、あと新しい電気製品が出たけどその取扱説明書も読んで欲しいっていうような希望もあったりすると、私たちが読んでも字を読んでも図を見てもなかなかわからないんですけど、それを聞くだけで理解するっていうのは大変だと思うんですけどそういう希望があると、そういうことも希望があったら原則すべて受け入れて、サービスに対応したいっていう気持ちで、やっているのが音訳活動なんですけど、今年ね、点訳の方がこの図書館でボランティア講座やりますけど、去年一昨年は音訳の方がやっぱり講座を開いて、高校生以上の方を対象に夏休みにやりました。

音訳も是非、はい。

(桂議長)

村上さん、所属団体は。

(村上委員)

音訳の方は「しおさい」っていう団体ですけど。

(桂議長)

市から委嘱されているんですか。

図書館の関係団体ですね。予算も図書館・市から出ているんですね。

(事務局)

ボランティア団体なんで、図書館からは、基本的には出ていません。

(村上委員)

市の広報とか市議会だよりと福祉木更津については、実際の作業量がどうこうじゃなくて、作業代というようなことにもなるかもしれませんけど、それぞれのところから年間いただいています。

(桂議長)

皆さんよろしいですか。

(村上委員)

ぜひご利用ください。

(桂議長)

館長、補足はないですか。皆さん活発な意見をいただいて。
手塚さんまだ、しゃべってないですね。質問でも意見でも、印象でも。

(手塚委員)

後で、説明いただく時と思ったんですけど、やはり私としては、今年度新規の乳児健診時のブックスタート事業、それからその辺りがどんなふうにも、例えばその本の選定をどう、どんなところから借りてるのかなどしているのかな、ていうのと。先ほど館長の方からご説明ありましたが、何冊ぐらいを目安に考えていらっしゃるのかなあとか、予算もかかるでしょうし、その辺りと、赤ちゃんと一緒にお話し会との連携が何かこう配った絵本と、そのあと、それが連携があるのかなあと、何かそんなことを感じながら聞いていました。

あとは、そうですね先ほども話が出ましたが、読書手帳の試み、去年始まった試みなんですかね。私も去年の夏休みに息子と一緒に図書館には来たんですけどすいません存じ上げなくて多分タイミングが合わなかったんだと思うんですが、やはり何かこう自由研究をしようとか何か調べたいってなったら、うちの息子はもう割とちっちゃい頃から図書館大好きだったので、お母さん図書館連れてってというような感じで、自分のことやって多分書いちゃうと、きっと。

気がつかないんですけどせっかく素敵な事業なのに、一市民としては、そして子供ちょうどのくらいの子どもを抱えてるあれでそういうのがあるってことをちょっと存じ上げていなかったの、そういう周知がどういうふうな形でされているのかということと、本当申し訳ないですけどホームページのリニューアルもそうなんだって、最近初めて知りまして、あれなんですかね、ホームページ上からリクエストと予約ができるんですね。

すごい画期的だなと思って、それも知らなかったの、やはりきてないと思って、予約して帰るんですけど、ちょっと残念そうに帰ることもあるので、家でそれができるなんて素敵だなとは思いますが、ぜひ何かこう周知をもう少し広く周知をされたら、すごくいいんじゃないかなと思いつつながら。

(桂議長)

前年度もそういう意見はいっぱい出ていますよ。工夫されていますよ。

(手塚委員)

そうですね。どうしたらいいんですかね。

小学校の方でも、読書カードみたいなものをやっぱり持っていて、だからそういう学校さんがもうそういうふうに取り組みをされていると思いますので、何か学校さんのそれと同じ連携できてもいいのかな、なんて思ったりはしました。

(事務局)

周知の方法等いろいろ取りまなければいけないことは、たくさんあると思います。ホームページについては、ホームページに入っていないと見ていただくことできないので、できるだけトップページにいろいろ新しいことを貼り付けるような形で周知を図ることを進めています。また、読書手帳についてはホームページ上や後ほど説明のある市内の各小・中学生全員に配布する夏休みにおすすめの本のチラシでも周知をおこなっていることから市内の全児童生徒にすべて行き渡っていると思っています。

読書手帳は、500部と数が限定されておりますので、それがなくなってしまうと、なかなかお手元に行くことが難しくなりますので、ホームページからダウンロードしていただいてご自身で作っていただくように作成してございますのでそういったことの利用も含めてご利用いただければと考えていますのでよろしくお願ひしたいと思います。

(桂議長)

市の広報とか、市のホームページからでもアクセスできますので、是非一度お試しいただければと思います。まだまだ、質問等があると思いますが、時間の関係もあるので次の議題に移ります。よろしくお願ひします。次の議題のその他ですが、事務局の方から報告などお願ひします。

(事務局)

はい。冒頭の教育長の挨拶の中でもございましたけれども、今回、第二期木更津市教育振興基本計画、それと読書プランですよね。こちらの方が新しくなっていますので、若干ご説明を加えさせていただきたいと思います。

詳細につきましては、それぞれページを開けていただくと、計画の策定にあたって書いてございますので、これをお読みいただくのがよろしいと思います。

時間の関係もありますので、あまり詳しく説明はいたしませんけれども、後程お帰りになってご覧になっていただければと思いますよろしくお願いをいたします。

教育振興基本計画ですけれども、木更津の教育委員会では実は 2015 年から 2018 年までの 4 年間で計画としておりました第 1 期の木更津市教育振興基本計画を実施していました。これが 3 月末で終了したことから、新たに今後 4 ヶ年にわたる第二期の木更津市教育振興基本計画を作成したということでございます。詳細につきましては中に詳しく、教育の振興について書いてございますので、お読みいただきたいというふうに思いますよろしくお願いをいたします。

次に読書プランですけれども、読書プランにつきましては、子供の読書活動を社会全体で支援するために、平成 13 年の 12 月に施行されました子供の読書活動の推進に関する法律の中で、すべての子供があらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう積極的に、そのための環境整備が推進されなければならない、というふうにはなっております。

これを受けて、教育委員会では 5 ヶ年を計画期間として、平成 16 年に第 1 次の木更津市子供読書推進計画を作成しました。

その後 21 年に第二次 26 年に第 3 次を策定し、取り組んでおりましたけれども、この計画に改定を加えまして、令和元年度から 5 ヶ年を計画期間とする第 4 次子供の読書推進計画を策定したところでございます。教育長の方のお話からもありましたように、今後 5 年間この計画上に沿って子供の読書の推進を図っていくというような形でございます。

それともう一つございますけれども、こちらの 2 枚の見開きのものとなっておりますけれども、平成 30 年度の教育委員会の権限に関する事務の管理及び執行状況の点検評価というものがございます。

こちらにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定によりまして、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作ってこれを議会に提出し公開しなければならないとなっております。

このことから図書館についても、毎年点検評価の一覧表を作成して教育委員会に提出しているところとなっております。

図書館といたしましては、昨年度までの教育振興基本計画の基本目標でございます、社会教育の推進を図るための 4 点ほどの目標 4 項目の目標掲げ、自己評価を行ってきたところでございます。

このシートにつきましては、実は 6 月 21 日開催の教育委員会議で報告させていただいているとともに、今後、9 月の議会で報告させていただくこととなっております。

図書館協議会においては事業報告事業計画において同様の報告をすでにさせていただいているところですが、一覧表作成してございますので、ぜひご確認いただき、ご意見等ちょうだいできればというふうに思います。

また評価欄に A B C D の指標がございますけれども、評価の A は目標通りまたは目標を上回る成果があった施策、B については概ね目標通りの成果があった施策、C は成果が見られるものの目標が一部未達成の施策、D は、目標が未達成または成果が見られない施策となっております。

指標の評価についてはそのようになってございますのでご覧いただきますようよろしくお願いをいたします。以上でご報告を終わらせていただきます。

(桂議長)

その他のブックスタート事業のことについては、

では石渡さんお願いします。

(事務局)

石渡ですよろしくお願いします。

ブックスタートからご説明いたします。

先ほど教育長のご挨拶ですとか館長からの説明でお話があったと思うので、重なってしまう点もあるかと思いますが、お話いたします。

この4月より、健康こども部健康推進課が開催しています。

乳児健康診査ですね、4ヶ月上対象とした検診の場において、ブックスタート事業を開始いたしました。実は昨年度までも私たちにその検診の場所に行きまして、本を差し上げることはできなかったんですが、個別に1組ずつ親子に本の読み聞かせ等は行っておりました。

それがこの4月から正式に予算がつかまりましたので、このようなブックスタートパックという、こういった袋の中にさしあげる絵本とあと図書館で作成をしているカレンダーですとか、あとこういった子供向けの絵本のリストですね。

あとは本を初めて読む方へ向けてアドバイスブックというのをセットにしたものを差し上げています。

先ほど手塚委員からもご質問があったんですが、差し上げる本については、私達NPO法人ブックスタートというところにブックスタート始めるにあたっていろいろ相談に乗ってもらったり、しているんですがそちらの方で毎年30冊程度有識者会議が開かれてまして発達心理学ですとか、保育園の先生ですとかそういう児童書を選ぶ組織がありまして、その中で選ばれた本の中から選んでいます。

当市ではこの「がたんごとん がたんごとん」という絵本を主に差し上げるように選びました。

これはやはり私達職員が長いこと子供たちと接する中で、当たり外れがない。

ほとんど多くの子に反応があるというようなことを感じましたので、この絵本を選びました。

ただどうしても例えばもうこれをうちにある。方もいらっしゃるので。

そういった場合は「ぴょーん」という絵本もしくは「くつついた」という他の二冊を用意しまして、持っていないうちの1冊をその場で読んで差し上げるようにしています。

先ほどもお話をしましたけど、やはり実際読んでみると、まだ4ヶ月の赤ちゃんがニコニコと笑ったりするので非常に保護者の方もこんなにちゃんと伝わるんだね。なんていうふうに実感してくれていいかなと思っています。これをきっかけに読書習慣の形成に繋がっていけばなと思っています。

今後の課題としましては、今は職員だけでやっているんですが、いずれはボランティアの導入も含めてやっていかないとなかなか職員だけでまわしていくのは大変でしたり、やはりももとの発想がこの地域でもって子育て応援していこうということがブックスタートで大事なことになっていきますので、地域の方々の力を借りて一緒に子育てをしていきたいと思います。

それで昨日までに、4月から月3回やっていたんですが、さ、7月5日もありまして昨日までの時点で、244人の方たちにブックスタートを実施しました。

大体1回30名程度の方々が検診の対象になっていますので、ほぼその人数の方がいらして実施をしているというところですね。

これを先ほどお話したこの「がたんごとん」を持っている方には、こちらの2冊のうちのどちらか。

この中から一冊ですね、1冊を差し上げてちょっと読んでもらっているようにしています。

ブックスタートに関しては、私の方は以上です。

(村上委員)

一冊いくぐらいですか。

(事務局)

通常に販売しているものとこれ800円前後するんですが、そのNPOブックスタートでまとめて買っていますので、ちょっと特別な安い価格で大体600円しないぐらい、ブックスタートの意義に賛同してく

ださっている出版社もそこに協力をしてきている形で通常の流通とはかなり違う額で買えるように仕組みを作ってくれてますので、大体これ1冊570円ぐらいのものを当館では選んで出しています。

(桂議長)

絵本だからね。結構いい値段しますね。

(事務局)

そうですね。現在、大体ブックスタート事業につきましては年間の予算がおおよそ100万円の予算で、実施しています。図書の購入費に加えて、いわゆる配布バックにかかるものですよ。そういったものが入っています。

本とブックレット、布製のバックなどを含めて、100万円の金額になり、対象は1000名くらいと考えております。

(桂議長)

只今、事務局から説明があったことで質問があればお願いします。一度持ち帰ってですね、じっくりとは言わないにしても、目を通して戴いてご意見がありましたら、また次回にと言っても忘れてしまうと思いますけど。よろしいでしょうか。

(鉢村委員)

ブックスタートの企画のことなんですけれども、今後は図書館の職員の方だけじゃなくって、ボランティアの方にも加わってもらわないとちょっと運営的になかなか厳しいかなっていうふうなお話があって、実は総合高校には保育コースがあるんですね。それから併設の清和大学の短期大学部はもう、もちろん子供学部っていうことですので、ちょっとそういう関係の先生方にお話をちょっとしてみることができるかなと思うんですけれども、その際にですね、例えば事前勉強会があると、例えばこういう学生さんたちは困るとか。何かそういう基準的なようなことも考えていらっしゃいますでしょうか。

(事務局)

まだそこまできちんと考えてない状態なんですけれども、今後例えばボランティア育成するにあたっては、考えていければいけないと思います。

(鉢村委員)

すいません。まだあくまでも私のこの場での考えなので、ちょっと実現するかどうかわからないんですけれども。

(桂議長)

木更津総合高校として図書館にお願いするのはいいのかなと。清和大の方も木更津市と連携を結んでやられているので、そういう意味では、図書館のためになること、子どもたちのためになるようなことであれば、どんどんと学校側ですすめていただけたらなあ。ただ来てもらいたくない子どもはいないと思いますので、そのへんは、大きな気持ちでやればよいかなと。よろしいですかね。

(實剣委員)

事業報告と事業計画関わるところで、さっきの蔵書の話、冊数の話が出て、実はうちの大学ももうほぼ満杯で困っているんですけど。

当然とか除籍してかなくちゃいけないんですけども。

ただ、特に私の大学でいうと、古い、古い人っていうとちょっと語弊があるんですが、要するに図書館で書庫・倉庫みたいに思っていると、結構いて、古い方、ただ単に置いとけば冊数が多いことがいいんだという発想の人が結構多くて、それを発想変えてやっぱ本で利用してもらわないと意味がないと思うんですよ。ただ積んであるだけだったならば、それはもう逆に国会図書館なりに任しとけばいいわけで、そういう辺りの一応ルールをもって除籍して、新しいものを受け入れっていう話あったんですけど、木更津の図書館自身として、その辺どんなことを考えてらっしゃる。或いは取り組んでいらっしゃる、なんかあったら教えていただきたいんですけど。

(事務局)

図書館司書がおりますので、図書の選定については様々な形で行なっています。

特に、公立図書館の資料のそろえ方というのは非常に難しいと思います。バランスが大事なので、新刊や古典、文芸書や教養書がバランスよく入っている必要もありますでしょうし、或いは調査研究用の図書ですとか、郷土資料も含めて、絶妙なバランスでそろえていく必要があると思います。

その中で、冊数に限界がありますので、ある程度除籍をしていかなきゃいけないことがありますので。除籍についても、要綱を作成してそれに基づいて除籍するような形をとっておりますが、慎重な除籍が求められるというふうに思います。

非常に古くなって汚損ですとか破損が激しいものについては、もう貸せないようなものがあると思いますのでこういったものを中心に除籍していきます。

しかしながら、その資料が県下で例えば木更津市図書館にしかないとか、そういうものについては除籍をせずに、保存をしていくという方向で考えています。

ですから、1冊の本を、除籍するにしても相当考えて除籍していかないと、貴重な資料がなくなってしまうことも考えられますので、十分注意して除籍をしていくような形をとっていきます。

また、副本を購入している場合があると思います。

例えば、芥川賞ですとか、直木賞作家さんがその年に書いた本は人気が高いですから、場合によっては数冊購入する場合があります。こういうものが10年とか20年経っていくと非常に古くなっていくわけです。同じものを複数、所蔵しておく必要がない場合については副本についても廃棄していくようなことも必要と考えます。このようなことから、除籍についても適正な判断をしながら、慎重に判断をしているのが、今の木更津市図書館の状態だということふうに考えます。以上です。

(桂議長)

他に。今回は、令和元年度ということでの最初の定例会ということで、木更津市の図書館のあり方、今後の課題、日頃感じていることなどを。委員の皆様のご意見、色々伺いましたけども最後のほうで言い忘れたこと、聞いておきたいことなどありましたら。

(村上委員)

感想です。送っていただいた資料のなかに「みんなの図書館」と一緒にイベントのチラシを入れていただいている、すごく見やすいとかイラスト・文字・配置とっても工夫してあるなと思って。予算がない中でとってもいいチラシを作っているなあと。いいわと伝えてください。

(桂議長)

学年別に色を変えていただいたり、色々工夫されていますね。

荻野委員どうぞ。

(荻野委員)

協議会の議題とは関係ないんですけど、図書館のほうで今後イベントなどで駐車場を使うことがあれば、日曜・祭日、第二土曜日は休みですので、いつでもお貸しします。それと近々、7月21日の日曜日は町内のお祭りで、うちの会社を開放します。同時に図書館の交差点から木高の交差点が12時から13時まで通行止めになるんですね。去年、図書館利用者のここから出る車が通りに入ることがあって、ちょうどお祭りとぶつかっちゃって。町内の人も出られないようにしてもらえればと考えています。1時間ですので図書館のほうもご協力いただければと思います。よろしくお願いします。

(桂委員)

館長よろしいですかね。

寶劔さんと鉢村さんに学校の図書について色々豊富な意見をいただいた。今回、最初の定例会にしては盛り上がった感じがあります。村上さんにも色々のご意見をいただきました。このように活発な協議会でありました。改めてお礼申し上げます。終わりになりますが、今日終わった後でも図書館にいらしていただ

いて。石渡さんは2階にいつも居るわけですね。声をかけていただいて。
また、今日来られていない3名の方は、前回の経験者でもありますし資料を送っていただければ。
見ていただいて、意見があればと思います。冒頭で言いました議事録の署名は私と副議長の荻野委員に
願います。他にまだありましたか。

(事務局)

こちら、毎年先ほど館長からもお話がありましたが、市内の全小中学生に全員に夏休み前に配布している。
おすすめの本です。
今年で、これ16回17回16、17年目ぐらいになりますが、図書館の職員がすべて読んでよかったと思う
本を薦めています。

2学年、1・2年生はピンク、3・4年生は黄色、5・6年生は緑で中学生は水色となっています。
特に中学生のおすすめの本は大人が読んでも、とても読みごたえがありますので、特におすすめが開いた
ページの一番左上「8月の光」、これは原爆二世の方が書かれた本なのですが、非常に深く胸に考えること
があるような本になっていますので、ぜひ皆さんもよかつたら手にとってみてください。
こちらの本は児童室入って正面に夏休み期間中だけ図書館に来るお子さんも多いですので、すぐわかるよ
うに、ディスプレイをして、背表紙におすすめの、この対象のシールを貼って「おすすめの本ですよ」と
いう区別をして置いてあります。ぜひまた帰りにでも寄ってご覧いただけたらと思います。

(事務局)

それと先ほどの本なんですけれども、基本的に配布が進んだ段階でホームページ上にもアップしていま
す。今の現在2018年分がアップされた状態ですので、ほとんどの図書館からの配布資料はいわゆるホー
ムページ上で確認ができますので、皆さんもしお時間がありましたら、ホームページもご確認いただけれ
ばありがたいなというふうに思います。

かなりの頻度で更新しておりますので、いろいろな情報も含めて入手できると思いますのでよろしくお願
いします。

パソコンだけではなくて、スマートフォンにも今回から対応しておりますので、そういった形でご確認し
てみてくださいよろしくお願いをいたします。以上です。

(桂議長)

議長解任ということでありがとうございました。

(事務局)

長時間にわたりまして、貴重な意見をありがとうございました。委員の皆様には今後とも本市図書館業務
の推進発展のため、なお一層のご支援ご協力お願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和元年度第1回図書館協議会を終了いたします。ご苦労さまでした。
ありがとうございました。

議事録署名人 委 員 桂 啓之

委 員 荻野 敬次